

みちのく潮風トレイルの環境整備に関する要望

要望の要旨

みちのく潮風トレイル利用者の声に対応した遊歩道の改修、休憩施設の拡充及びインバウンドハイカーへの対応等、利用者が安全・安心に歩くことができる環境整備を要望します。

要望の理由

平成24年に整備が始まり、令和元年6月に全線開通したみちのく潮風トレイルは、交流人口の拡大など東北沿岸部の地域活性化に資する貴重な地域資源として、その存在感が増しているところであります。青森県八戸市から福島県相馬市までの総延長1,025キロメートルのうち、本市では自治体単位最長の164.2キロメートルが設定されております。

自然を満喫しながら歩くトレイル人気が高まる中、自然災害や老朽化により劣化した柵や手すり等を含めた遊歩道の改修、ベンチ・四阿・トイレ等の休憩施設の拡充及びインバ

ウンドハイカーへの対応等、コースの充実や環境整備を望む声が利用者から寄せられています。

つきましては、ハイカーが安全・安心に利用できるよう整備改善を行うとともに、標識の充実、多言語化の対応、休憩施設の拡充整備、利用促進等に向けた取組の実施について要望いたします。